

一枚ずつお取りください!

平成16年1月23日号  
ATM鎌ヶ谷発 NO.5  
発行：ATM鎌ヶ谷事務局

# “歩いて楽しいみちづくり”

～東武鎌ヶ谷駅西口地区の生活道路～

わたしたちの暮らしに密着した道路の問題について  
歩行者・自転車優先にすることを考えていきます。

## ワークショップが地域のみなさん 26 名の参加により発足しました



「暮らしのみちゾーン」に取り組む“歩いて楽しいみちづくり鎌ヶ谷”のワークショップの発足式を1月17日午後3時から道野辺中央コミュニティセンターで行い、地域のみなさん26名が参加されました。

当日は、地元の東武鎌ヶ谷駅前商店街振興組合・井上理事長の司会により進められ、代表者には鈴木健之（鎌ヶ谷駅前自治会）さんが選出された後に、今回の取り組みにあたって、今までの経緯、事業概要が映像を使ってわかりやすく説明されました。

おわりに、コンサルタントより第1回のワークショップでの検討テーマ「地区のどんな点が課題であるか」の話があり、次回までに配布されたメモ用紙に感じていることを参加者が自由に書いて、持ち寄ることになりました。

ワークショップとは、参加者が自由に意見やアイデアを出し合い共同作業を進めながら合意形成を図り、具体的な計画の提案を行う場（共同作業の場）です。

東武鎌ヶ谷駅西口地区は「暮らしのみちゾーン」に取り組む地区として昨年6月に国土交通省へ登録されてから、地域のまちづくり活動をしている鎌ヶ谷駅前自治会、東武鎌ヶ谷駅前商店街振興組合、NPO法人KAO（カオ）の会の代表者の方たちが、市民参加型のワークショップ（共同作業の場）の発足に向けて運営委員会をつくり、自治会の回覧やホームページの作成、対象となる道路への立て看板の作製などの広報活動や地域のみなさんへの説明会を自主的に行ってきました。



今後は5年程度かけて車の進入や速度を抑える工夫をしたり、道路の段差や電柱を解消して誰もが安心して歩ける、そして快適で賑わいのある道路にしようと、市と地域の人たちが協力して取り組んでいきます。

# 第1回ワークショップを行います。

日時 平成16年2月10日(火) 午後7時から  
場所 道野辺中央コミュニティセンター 1階多目的ルーム  
内容 『みんなで考えよう! 私たちの地区の課題点!』

当日はどなたでも自由にご参加いただけますが、資料を準備する都合から参加される場合は、事前に下記までご連絡いただけますようご協力をお願い申し上げます。  
会場には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

(連絡先) 『歩いて楽しいみちづくり鎌ヶ谷』  
(略称: ATM鎌ヶ谷)

事務局: 鎌ヶ谷市役所 都市部 都市整備課 市街地整備係  
電話: 047-445-1141 内線482

具体的な取組みを予定している地域など、詳しくは鎌ヶ谷市のホームページをご覧ください。

<http://www.city.kamagaya.chiba.jp>



## くらしのみちフェアで発表します!

車よりも人を優先する「くらしのみちゾーン」施策に積極的に取り組んでいる全国各地の住民や関係者が平成16年2月2日(月)日本教育会館で、安全で快適なみちづくりを目指して、一堂に集まります。

この地区のワークショップは地域のみなさんにより自主的に立ち上げたことが認められ、分科会では全国の商業地系を代表して東武鎌ヶ谷駅前商店街振興組合の井上秀雄理事長がこの地区のくらしのみちゾーンへの取り組み状況を発表します。

主催 くらしのみちゾーン連絡会議(国土交通省)

内容 円卓会議 「人が主役のみちづくり」

分科会 「こんなみちづくりをしています」

住宅地系

商業地系

観光地系

なお、1月17日に行ったワークショップの発足式で参加希望者を募り、地域から7名のみなさんが参加されることになりました。